



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 9048 URL <http://www.meitetsu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 亜土  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 後藤 卓郎 TEL (052) 588-0846  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	428,525	△ 2.8	20,398	△ 12.3	17,074	△ 12.7	4,623	△ 49.6
23年3月期第3四半期	440,978	△ 1.2	23,256	66.6	19,557	102.2	9,179	285.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 11,768百万円 (676.0%) 23年3月期第3四半期 1,516百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5.26	4.92
23年3月期第3四半期	10.44	9.74

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,141,190	211,024	17.0
23年3月期	1,149,355	202,017	16.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 194,209百万円 23年3月期 185,835百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 現時点では、平成24年3月期の期末配当予想額は未定です。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	601,000	△ 1.4	26,700	△ 4.3	22,100	△ 4.3	8,900	△ 0.9	10.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 - 社 ( ) 、除外 - 社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	881,584,825 株	23年3月期	881,584,825 株
24年3月期3Q	2,383,734 株	23年3月期	2,352,501 株
24年3月期3Q	879,215,208 株	23年3月期3Q	879,364,787 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しています。

(参考)

平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	98,000	0.8	12,300	6.3	9,600	24.7	3,300	△ 8.6	3.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
決算説明資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災による悪化からは回復傾向にあるものの、円高や世界経済の減速による影響が長期化しており、依然として先行き不透明な状況で推移しました。こうした状況下、当社及び当社グループの各事業部門は積極的な営業活動と経営の合理化に努めました結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は4,285億25百万円(前年同期比2.8%減)となり、営業利益は203億98百万円(前年同期比12.3%減)、経常利益は170億74百万円(前年同期比12.7%減)、四半期純利益は46億23百万円(前年同期比49.6%減)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ①(交通事業)

鉄軌道事業については、当社では、常滑線太田川駅付近の高架化を進め、3層構造となった新駅舎の供用が開始されたことに伴いより柔軟なダイヤ編成が可能となったほか、安定的な列車運行と事故・災害時の対応力強化を図るため、名古屋本線神宮前駅東口において「鉄道業務棟」の建設を進めました。車両の更新については、通勤型車両4000系4両を新たに導入したほか、ICカード「manaca」については、本年4月からの東海旅客鉄道(株)「TOICA」との相互利用サービス開始に向けた準備を進めました。また、旅客需要喚起のため、昨夏で開催5年目を迎えた「ポケモンスタンプラリー」のゲーム内容をリニューアルするなど活性化を図るとともに、「犬山キャンペーン」をはじめとした沿線自治体とのタイアップ企画を積極的に展開しました。

バス事業については、名鉄バス(株)では、空気中の除菌・脱臭効果がある「プラズマクラスターイオン発生機」の全高速バス車両への導入などを進めたほか、ダイヤ改正等により利便性を高め、高速バス事業における競争力強化を図りました。また、岐阜乗合自動車(株)においては、バス運行情報提供サービスにQRコードを導入するなどの改良を行い、路線バス事業における利便性とサービスの更なる向上に努めました。

タクシー事業については、昨年4月に、名古屋市周辺を営業エリアとするタクシー会社3社を傘下に持つ中間持株会社、名鉄タクシーホールディングス(株)を設立し、ブランドの統一をはじめとした当該3社間の連携強化並びに経営の効率化により、競争力のある事業体制の構築を図りました。

しかしながら、貸切バス部門を中心に震災による出控えの影響を大きく受けたほか、燃料費やICカード関連費用の増加もあり、交通事業の営業収益は1,184億68百万円(前年同期比1.1%減)となり、営業利益は104億65百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

#### ②(運送事業)

トラック事業については、名鉄運輸(株)を中心としたトラックグループ全体でのネットワーク強化を推進するため、主に四国エリアにおいて事業の再編を行いました。しかしながら、震災の被害を受けた子会社の収入が前年同期比で大きく落ち込んでいるほか、貨物輸送運賃の下落等もあり、全体では減収となりました。

海運事業については、仙台港を発着する太平洋フェリー(株)において復興関連輸送の需要が増加したほか、震災以降休止していた一般旅客営業についても昨年6月から全面的に再開し、同年3月に竣工した新船「いしかり」のPRをはじめとした旅客利用促進策を積極的に行うなど、収入の回復を図りました。

運送事業全体の営業収益は1,017億78百万円(前年同期比1.0%減)となり、燃料費や減価償却費などの増加もあり、営業利益は40億49百万円(前年同期比28.1%減)となりました。

#### ③(不動産事業)

不動産賃貸業については、当社では、名古屋駅前のオフィスビル「名古屋クロスコートタワー」の建設を(株)中部経済新聞社などと共に進めたほか、岐阜市徹明通の旧岐阜メルサ・ファッション館に(株)ドン・キホーテの総合ディスカウントストア「ドン・キホーテ柳ヶ瀬店」がオープンするなど、保有不動産の有効活用を図りました。また、名鉄協商(株)が展開するコインパーキングでは「MKPポイントカード」のサービスを開始し、利用者の確保に努めました。

不動産分譲業については、当社では、平成21年度より販売している分譲団地「名鉄 陽なたの丘」が好評を博していることを受け、住宅用に細分割していない東側区画(3工区、320区画)の再造成工事に着手したほか、名鉄不動産(株)では、愛知県知多市において大型分譲住宅用地の開発を進めました。しかしながら、分譲マンションの販売引渡戸数は前年同期に比べ減少しました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は448億63百万円(前年同期比16.9%減)となり、営業利益は39億21百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

## ④ (レジャー・サービス事業)

ホテル業については、「名鉄ニューグランドホテル」では、開業以来初となる全面的な改装を実施し、フォーマルなシーンにもご活用いただけるようホテル全体のイメージを一新することで、新規顧客の取り込みを図りました。

旅行業では、当社・名鉄観光バス(株)・名鉄観光サービス(株)が共同で名鉄グループ旅行情報サイト「Mたび」をオープンし、当該3社が取り扱う旅行商品のインターネット販売を強化しました。

観光施設については、「野外民族博物館 リトルワールド」において、同館初となる大型特別展「謎のアンデス文明 5000年展—時空を超えたモノ語り—」を開催し、新規来館者やリピーターの獲得に努めました。

しかしながら、レジャー・サービス事業全体では、震災による旅行のキャンセルや出控えに加え、天候不順の影響があったほか、E T C休日割引制度の廃止によるハイウェイレストランでの減収もあり、営業収益は403億93百万円(前年同期比5.2%減)となり、営業損益は前年同期に比べ3億51百万円収支悪化し80百万円の損失となりました。

## ⑤ (流通事業)

百貨店業については、「名鉄百貨店本店」では、旧ヤング館に(株)ヤマダ電機の「LABI名古屋」がオープンし、集客の増加に寄与しました。また、20~30代の女性をターゲットにした売り場「MAISON de Nana (メゾン・ドゥ・ナナ)」を本館に新設するなど、お買い物の利便性と収益性の向上を図ったものの、昨年3月の旧ヤング館閉館に伴う売り場面積縮小などもあり、前年同期比で減収となりました。一方で、石油製品販売においては、原油価格の上昇及び販売量の増加により前年同期比で増収となったほか、輸入車販売も好調に推移しました。

流通事業全体では、一部の会社で決算期変更を行った影響もあり、営業収益は1,058億2百万円(前年同期比0.5%増)となり、営業損益は前年同期に比べ2億72百万円収支改善し51百万円の利益となりました。

## ⑥ (その他の事業)

その他の事業については、当社では、「manaca」電子マネーポイントサービス「名鉄たまるん」の入会キャンペーンや積極的な新規加盟店の開拓を行ったほか、全日本空輸(株)とのポイント相互交換サービスを開始しました。さらに、名古屋駅周辺の飲食店とタイアップしたイベントを開催するなど、「manaca」利用者の増加を図るとともに、「名鉄たまるん」会員の獲得に努めました。

名鉄協商(株)では、名古屋市内を中心に展開するカーシェアリングサービス「カリテコ」のステーション拡大を進めるとともに、サービス利用時のICカードキーとして「manaca」を利用可能とするなど、利便性を高めました。また、首都圏の大手カーシェアリング事業者と業務提携を行うなど、会員の多様なニーズに応えられる体制を整えるとともに、新たな利用者の取込みを図りました。

その他の事業全体では、株式取得により航空事業の子会社を新たに連結したことなどによる収入の増加があった一方、設備工事において受注が減少したことなどにより、営業収益は478億59百万円(前年同期比1.3%増)となり、営業利益は14億72百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末においては、総資産が前連結会計年度末に比べ81億65百万円減少しております。これは主として、未収債権の回収などにより受取手形及び売掛金が43億40百万円、減価償却などにより有形固定資産が全体で85億88百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債の部は前連結会計年度末に比べ171億72百万円減少しております。これは主として、工事負担金等前受金を含む流動負債その他が117億80百万円増加した一方で、支払等により支払手形及び買掛金が158億11百万円、税制改正に伴う法定実効税率の引き下げ等により再評価に係る繰延税金負債が82億11百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末に比べ90億7百万円増加しております。これは主として、利益剰余金が20億8百万円増加したことに加え、税制改正に伴う法定実効税率の引き下げ等により土地再評価差額金が85億35百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、東日本大震災による景気の大幅な落ち込みからは持ち直しているものの、歴史的な円高水準の長期化や海外経済減速の影響などが引き続き懸念されております。当社グループの主要営業エリアである東海地方においても、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

連結業績につきましては、不動産事業や流通事業において減収が懸念される一方、引き続き全社的な諸経費の削減に努めてまいります。第3四半期までの業績も踏まえた現時点での通期業績予想は、平成23年11月8日公表値を見直し、営業収益は6,010億円(前期比1.4%減)と前回予想に比べ僅かに減収を見込むものの、営業利益は267億円(前期比4.3%減)、経常利益は221億円(前期比4.3%減)、当期純利益は89億円(前期比0.9%減)と、それぞれ引き上げることといたします。

また、個別の通期業績予想についても同日公表値を見直し、営業収益は980億円(前期比0.8%増)、営業利益は123億円(前期比6.3%増)、経常利益は96億円(前期比24.7%増)、当期純利益は33億円(前期比8.6%減)と、それぞれ引き上げることといたします。

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

#### 1. 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「企業会計基準第24号 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成21年12月4日)及び「企業会計基準適用指針第24号 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成21年12月4日)を適用しております。

#### 2. 法人税率等の変更による影響

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)等が公布されました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度までに解消が見込まれる一時差異等については37.7%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.3%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は2億67百万円、再評価に係る繰延税金負債は95億63百万円それぞれ減少し、法人税等調整額は6億28百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,925	15,606
受取手形及び売掛金	58,233	53,893
短期貸付金	9,536	8,911
分譲土地建物	77,634	82,875
商品及び製品	7,896	7,624
仕掛品	468	772
原材料及び貯蔵品	4,027	4,086
繰延税金資産	5,718	4,594
その他	10,040	13,218
貸倒引当金	△467	△388
流動資産合計	182,015	191,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	348,780	337,292
機械装置及び運搬具(純額)	71,605	64,654
土地	374,387	372,945
リース資産(純額)	6,742	10,266
建設仮勘定	36,547	45,556
その他(純額)	10,192	8,951
有形固定資産合計	848,255	839,667
無形固定資産		
のれん	241	412
リース資産	1,773	1,510
その他	13,928	10,485
無形固定資産合計	15,944	12,408
投資その他の資産		
投資有価証券	72,776	68,238
長期貸付金	457	381
繰延税金資産	12,967	13,334
その他	18,681	17,418
貸倒引当金	△1,742	△1,453
投資その他の資産合計	103,140	97,919
固定資産合計	967,340	949,995
資産合計	1,149,355	1,141,190



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,219	56,407
短期借入金	196,818	203,425
1年内償還予定の社債	34,773	34,773
リース債務	1,902	2,980
未払法人税等	2,768	2,717
従業員預り金	18,939	18,927
賞与引当金	5,226	1,948
商品券等引換引当金	2,039	1,524
その他	76,160	87,940
流動負債合計	410,848	410,645
固定負債		
社債	120,000	120,000
長期借入金	275,028	264,945
リース債務	7,243	9,584
繰延税金負債	4,855	4,061
再評価に係る繰延税金負債	72,944	64,732
退職給付引当金	30,892	30,574
役員退職慰労引当金	2,176	1,828
整理損失引当金	3,016	2,714
商品券等引換引当金	195	170
負ののれん	52	29
その他	20,084	20,879
固定負債合計	536,490	519,520
負債合計	947,338	930,165
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	84,185	84,185
資本剰余金	18,428	18,428
利益剰余金	27,281	29,290
自己株式	△742	△745
株主資本合計	129,153	131,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,420	4,258
土地再評価差額金	50,319	58,855
為替換算調整勘定	△57	△64
その他の包括利益累計額合計	56,682	63,049
少数株主持分	16,182	16,815
純資産合計	202,017	211,024
負債純資産合計	1,149,355	1,141,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	440,978	428,525
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	378,329	369,746
販売費及び一般管理費	39,392	38,381
営業費合計	417,721	408,127
営業利益	23,256	20,398
営業外収益		
受取利息	108	84
受取配当金	687	874
持分法による投資利益	1,258	733
雑収入	1,676	2,050
営業外収益合計	3,730	3,743
営業外費用		
支払利息	7,198	6,644
雑支出	231	423
営業外費用合計	7,429	7,068
経常利益	19,557	17,074
特別利益		
前期損益修正益	175	—
固定資産売却益	663	1,075
工事負担金等受入額	1,591	842
投資有価証券売却益	230	19
負ののれん発生益	22	821
その他	954	396
特別利益合計	3,638	3,155
特別損失		
前期損益修正損	15	—
固定資産売却損	332	242
減損損失	752	3,756
固定資産除却損	298	230
工事負担金等圧縮額	1,460	777
投資有価証券評価損	23	1,771
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,322	—
その他	729	1,410
特別損失合計	4,935	8,188
税金等調整前四半期純利益	18,261	12,040
法人税、住民税及び事業税	5,236	4,429
法人税等調整額	2,776	2,014
法人税等合計	8,012	6,444
少数株主損益調整前四半期純利益	10,248	5,596
少数株主利益	1,069	973
四半期純利益	9,179	4,623

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,248	5,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	478	△2,280
繰延ヘッジ損益	0	—
土地再評価差額金	△9,177	8,469
為替換算調整勘定	△10	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	△9
その他の包括利益合計	△8,731	6,172
四半期包括利益	1,516	11,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484	10,579
少数株主に係る四半期包括利益	1,031	1,189

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

## 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
営業収益									
外部顧客に対する営業収益	117,949	102,431	49,464	41,858	97,318	31,954	440,978	—	440,978
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,788	357	4,497	752	7,944	15,277	30,617	△ 30,617	—
計	119,738	102,788	53,962	42,611	105,262	47,231	471,595	△ 30,617	440,978
セグメント利益又は損失(△)	10,922	5,633	4,608	271	△ 220	1,740	22,956	300	23,256

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益又は損失の調整額300百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

## 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
営業収益									
外部顧客に対する営業収益	116,717	101,428	40,677	39,723	96,202	33,777	428,525	—	428,525
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,751	349	4,186	670	9,599	14,081	30,639	△ 30,639	—
計	118,468	101,778	44,863	40,393	105,802	47,859	459,165	△ 30,639	428,525
セグメント利益又は損失(△)	10,465	4,049	3,921	△ 80	51	1,472	19,879	518	20,398

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、航空事業、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益又は損失の調整額518百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 決算説明資料

### 平成24年3月期第3四半期連結決算について

連結業績については、東日本大震災の影響からは回復傾向にあるものの、営業収益は前年同期比△2.8%の減収となり、営業利益は△12.3%、経常利益は△12.7%、四半期純利益は△49.6%とそれぞれ減益。

**営業収益は4期連続の減収、営業利益・経常利益及び四半期純利益はそれぞれ2期ぶりの減益。**

(連結業績関係)

<連結子会社数：136社（前期末比 + 2社） 持分法適用会社数：15社（前期末比 -）>

(1) **営業収益** 4,285億25百万円 前年同期比△124億52百万円 △2.8%の減収

分譲マンションの販売引渡戸数が減少した不動産事業のほか、レジャー・サービス事業などにおいて減収となった。

(2) **営業費** 4,081億27百万円 前年同期比△95億93百万円 △2.3%の減

原油価格の上昇等に伴う燃料費の増加があったものの、売上減に伴う商製品販売原価の減少や引き続き全社的な経費の削減に取り組んだこともあり、減少。

(3) **営業利益** 203億98百万円 前年同期比△28億58百万円 △12.3%の減益

(主な事業別)

交通事業では、貸切バス部門を中心に震災による出控えの影響を受けて減収。燃料費やICカード関連費用の増加もあり、減益。

運送事業では、震災復興に係る輸送需要の増加があったものの減収、燃料費をはじめとする諸経費の増加もあり、減益。

不動産事業では、分譲マンションの販売引渡戸数が前年同期に比し減少したことなどから、減収・減益。

レジャー・サービス事業では、震災による出控え等の影響に加え、高速道路の休日割引廃止等に伴うハイウェイレストランでの減収もあり、減収・赤字化。

流通事業では、名鉄百貨店本店の売り場面積縮小があった一方、石油販売事業や輸入車販売が好調に推移し、一部の会社で決算期変更を行ったこともあり、増収・黒字化。

(4) **経常利益** 170億74百万円 前年同期比△24億83百万円 △12.7%の減益

営業外損益は、支払利息が減少したことなどにより、3億74百万円改善。

(5) **四半期純利益** 46億23百万円 前年同期比△45億56百万円 △49.6%の減益

特別損失は、減損損失や投資有価証券評価損が大幅に増加したことなどから、32億53百万円増加。法人税等調整額を含む税金費用を差し引いた四半期純利益は、減益。

## ①連結業績

科 目	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
営業収益	440,978	428,525	△ 12,452	△ 2.8
営業費	417,721	408,127	△ 9,593	
営業利益	23,256	20,398	△ 2,858	△ 12.3
営業外収益	3,730	3,743	12	
営業外費用	7,429	7,068	△ 361	
経常利益	19,557	17,074	△ 2,483	△ 12.7
特別利益	3,638	3,155	△ 482	
特別損失	4,935	8,188	3,253	
税金等調整前四半期純利益	18,261	12,040	△ 6,220	△ 34.1
法人税、住民税及び事業税	5,236	4,429	△ 806	
法人税等調整額	2,776	2,014	△ 761	
少数株主損益調整前四半期純利益	10,248	5,596	△ 4,652	△ 45.4
少数株主利益	1,069	973	△ 95	
四半期純利益	9,179	4,623	△ 4,556	△ 49.6

## ②連結業績の推移

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	純資産	連結子会社数
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	社
20年3月期第3四半期	517,177	26,147	21,668	△ 3,515	201,408	163
21年3月期第3四半期	483,748	20,706	15,866	7,610	204,727	154
22年3月期第3四半期	446,223	13,960	9,674	2,381	201,904	143
23年3月期第3四半期	440,978	23,256	19,557	9,179	206,363	135
24年3月期第3四半期	428,525	20,398	17,074	4,623	211,024	136

## ③セグメント別営業成績

		交通	運送	不動産	レジャー・サービス	流通	その他	計	調整額	連結
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
当第3四半期 累計期間	営業収益	118,468	101,778	44,863	40,393	105,802	47,859	459,165	△ 30,639	428,525
	営業費	108,003	97,728	40,941	40,474	105,750	46,386	439,285	△ 31,158	408,127
	営業利益	10,465	4,049	3,921	△ 80	51	1,472	19,879	518	20,398
前第3四半期 累計期間	営業収益	119,738	102,788	53,962	42,611	105,262	47,231	471,595	△ 30,617	440,978
	営業費	108,816	97,155	49,353	42,339	105,483	45,490	448,639	△ 30,918	417,721
	営業利益	10,922	5,633	4,608	271	△ 220	1,740	22,956	300	23,256
差 額	営業収益	△ 1,269	△ 1,010	△ 9,099	△ 2,217	539	627	△ 12,430	△ 22	△ 12,452
	増減率(%)	△ 1.1	△ 1.0	△ 16.9	△ 5.2	0.5	1.3	△ 2.6	-	△ 2.8
	営業費	△ 812	573	△ 8,412	△ 1,865	266	896	△ 9,353	△ 240	△ 9,593
	営業利益	△ 456	△ 1,584	△ 687	△ 351	272	△ 268	△ 3,076	218	△ 2,858
	増減率(%)	△ 4.2	△ 28.1	△ 14.9	-	-	△ 15.4	△ 13.4	-	△ 12.3

## ④連結貸借対照表

科 目	前 期 末	当 第 3 四 半 期 末	増減金額
流 動 資 産	182,015	191,195	9,179
固 定 資 産	967,340	949,995	△ 17,344
有 形 固 定 資 産	848,255	839,667	△ 8,588
無 形 固 定 資 産	15,944	12,408	△ 3,535
投 資 そ の 他 の 資 産	103,140	97,919	△ 5,220
資 産 合 計	1,149,355	1,141,190	△ 8,165
流 動 負 債	410,848	410,645	△ 203
固 定 負 債	536,490	519,520	△ 16,969
負 債 合 計	947,338	930,165	△ 17,172
純 資 産 合 計	202,017	211,024	9,007
負 債 純 資 産 合 計	1,149,355	1,141,190	△ 8,165

## ⑤連結有利子負債

	前 期 末	当 第 3 四 半 期 末	増減金額
連 結 有 利 子 負 債	654,705	654,636	△ 68

(注) リース債務を含む。

## ⑥減価償却費

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減金額
減 価 償 却 費	29,567	30,605	1,037

## (参考) 個別運輸成績

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減率
旅 客 収 入			%
定 期	32,934	33,018	0.3
定 外 期	25,563	26,134	2.2
計	58,498	59,152	1.1
輸 送 人 員			%
定 期	88,354	86,226	△ 2.4
定 外 期	170,231	174,578	2.6
計	258,585	260,804	0.9

(注) 定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

## 平成24年3月期通期の業績予想について

## ①連結業績予想

当社グループを取り巻く経済環境は、東日本大震災の影響からは持ち直しているものの、円高や海外経済減速の影響が引き続き懸念され、依然先行き不透明な状況である。

連結業績については、不動産事業などで前回予想に比し減収が懸念されるものの、利益面では、全社的な諸経費の削減効果が引き続き見込まれる。

これらの経済環境及び当社グループの最近の業績等を踏まえて、平成24年3月期通期の業績予想を下記のとおり見直す。

科目	今回予想	前回予想 (11月8日時点)	対前回予想 増減率	23.3期実績	対前期 増減率
営業収益	601,000 <small>百万円</small>	603,000 <small>百万円</small>	△ 0.3 %	609,716 <small>百万円</small>	△ 1.4 %
営業利益	26,700	25,700	3.9	27,891	△ 4.3
経常利益	22,100	20,200	9.4	23,086	△ 4.3
当期純利益	8,900	7,700	15.6	8,978	△ 0.9

## ②個別業績予想

科目	今回予想	前回予想 (11月8日時点)	対前回予想 増減率	23.3期実績	対前期 増減率
営業収益	98,000 <small>百万円</small>	97,800 <small>百万円</small>	0.2 %	97,268 <small>百万円</small>	0.8 %
営業利益	12,300	11,900	3.4	11,565	6.3
経常利益	9,600	8,100	18.5	7,696	24.7
当期純利益	3,300	2,900	13.8	3,610	△ 8.6